

H.E V2

vertical solar mounting system

垂直架台



H.E V2が選ばれる 5つの特徴

1

離隔を調整できるため、遮光率が低くなり、作物選定の自由度が上がります。

日光がたくさん必要な農作物の場合は離隔を広く、逆に日光を抑えたい農作物の場合は狭くする等、耕作する作物にあわせて設置可能です。

2

東西向きに設置することで、朝方・夕方の発電量が上昇します。

パネルの両面から効率よく発電するため、東西向きに設置します。これにより、朝と夕方の発電量が上昇するメリットがあります。

3

上部空間に障害物がなく、耕作機械の邪魔にならない設計。

農作業の妨げにならないよう、向かい合う太陽光発電パネルの間には障害物がありません。トラクターなどの耕作機がスムーズに稼働できるため、円滑に営農が可能です。

4

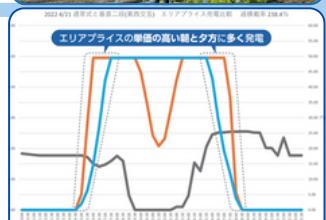
両面発電するパネルにより、積雪面の反射による発電効率UPが期待できます。

H.E エナジーが提案するソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）は、両面で発電可能なパネルを垂直に設置しております。積雪量の多い北海道では、白い雪に反射した太陽光さえも発電になり得る、貴重なエネルギーです。

5

垂直型に設置することで冬場の積雪を回避。

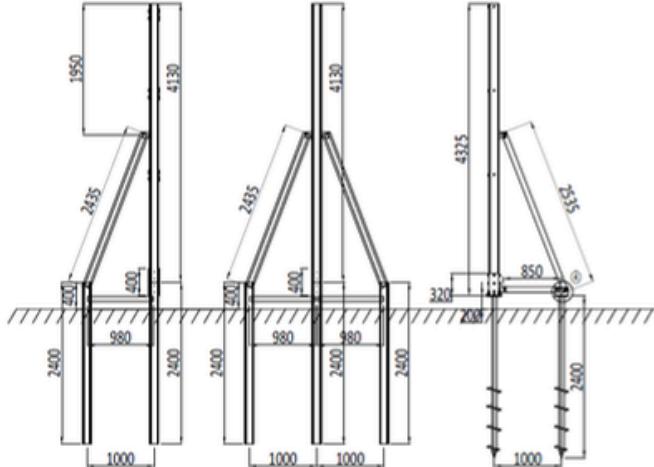
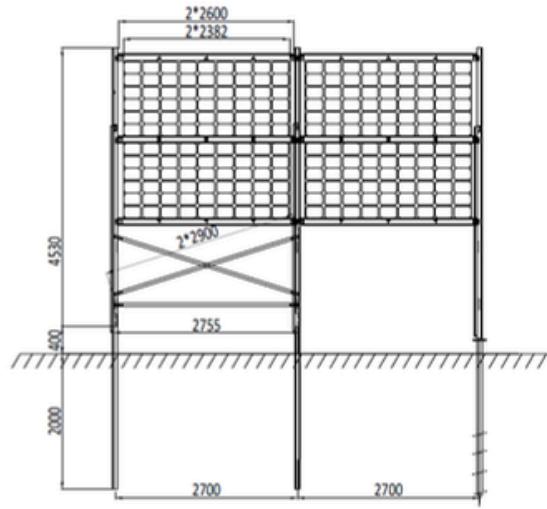
太陽光発電パネルを垂直に立てることで、パネルに雪が積もる心配がございません。積雪で発電量が低下することを防ぎます。



H.E V2

商品詳細

製品外観図



製品仕様

| | |
|----------------|---|
| 架台材質・表面処置 | 杭：溶融亜鉛メッキ 架台：S350GD+ZMA (ZAM類似製品) |
| 設置高さ (GL) | 1000mm・1500mm・2000mm |
| 設置基準風速・地表面粗度区分 | 地表面粗度：II、III 風速：40~46m |
| 強度計算規格 | 鋼構造許容力度設計規範-日本建築学会2019 |
| 対応太陽電池モジュールサイズ | 両面発電 2382mm(+2mm)*1134mm(+2mm)*30mm(+1mm) |
| 用途例 | 農地、牧場、商業施設駐車場 |
| H.Eエナジーの強み | 自社オリジナル製品、用地取得～EPC～O&Mまで一貫して提供可能 |

株式会社H.Eエナジー TEL:011-598-8266

 H.E ENERGY

〒064-0807
札幌市中央区南7条西1丁目21番地1
第3弘安ビル 8階

こちらからHPにアクセス

